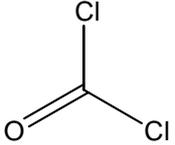


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2000 - 51	官報公示 整理番号	1 - 124(化審法：指定化学物質) 1 - 305(化学物質管理促進法)	CAS 番号	75 - 44 - 5
名 称	ホスゲン 別名：塩化カルボニル 塩化炭酸		構 造 式		
分子式	COCl ₂	分子 量	98.92		
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : 塩素、塩化水素 添加剤または安定剤：無添加					
物理・化学的性状データ 外 観：無色気体 ²⁾ 融 点：-118 ²⁾ 沸 点：8.2 ²⁾ 引 火 点：文献なし(不燃性) ³⁾ 発 火 点：文献なし(不燃性) ³⁾ 爆発限界：文献なし 比 重：d ₄ ⁰ = 1.432 ⁴⁾ 蒸気密度：3.4 l(空気 = 1) 蒸 気 圧：189 kPa(1,420 mmHg)(25 ²⁾) 分配係数：log Pow；-0.71(計算値) ⁵⁾ 加水分解性：水中で徐々に分解を受け、二酸化炭素及び塩酸を生じる 解離定数：文献なし スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 63(基準ピーク, 1.0)、35(0.44)、65(0.33) ⁶⁾ 吸脱着性：文献なし 粒度分布：該当せず 溶解性：水に難溶 ベンゼン、トルエンなどの有機溶媒に易溶 ²⁾ 換算係数：1 ppm = 4.11 mg/m ³ (気体, 20 ²⁾) 1 mg/m ³ = 0.243 ppm そ の 他：枯草様の臭い					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質はヒト、実験動物において眼や呼吸器に刺激性を示す。ヒトにおいては呼吸促拍、咳、大量の泡、血痰を吐き、チアノーゼ、ショック後、死に至る場合もある。実験動物でも呼吸器への障害がみられる。変異原性・遺伝毒性では復帰突然変異試験で陰性の報告がみられるが、他に報告がなく、評価できない。発がん性、生殖・発生毒性についての有用な報告はない。

本物質の生分解性及び濃縮性に関するデータはない。環境省のモニタリングデータはない。水圏環境生物に対する急性毒性についてはデータがない。

2) 指摘事項

- (1) ヒト、実験動物において眼や呼吸器に刺激性が強く、暴露により呼吸器の障害がみられ、死に至る場合もある。
- (2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S. National Library of Medicine(1998).
- 3) IUCLID(International Uniform Chemical Information Data Base)Data Set, EU(2000).
- 4) Sharat Gangolli, The Dictionary of Substances and their Effects, 2nd. Ed., The Royal Society of Chemistry(1999).
- 5) KowWin(Syracuse Research Corporation).
- 6) NIST Library of 54K Compounds.